

君津市国際交流協会 会報

No. 6

— Kimitsu International Exchange Society (KIES) —

1998年1月発行

〔発行〕KIES 〔編集〕総務広報委員会

〒299-1152 君津市久保2-11-21 Tel.(54)9877

郵便物やFAXは下記へ

君津市企画部国際交流室

〒299-1192 君津市久保2-13-1

FAX (56) 1628 TEL (56) 1265

生き生きふれ合う市民の国際交流



タイの子供たちへ楽器 君津ライオンズクラブ

KIESもお手伝いしていませんか。国際的な奉仕団体であるライオンズクラブは君津市でも活躍しています。その活動ぶりは、私たち市民も見たり聞いたりしているところです。

ことは、創設30周年に当たるので、その記念事業を進めています。市内の小中学校から古いハーモニカやリコーダーなどの楽器を集め、これをタイ国のライオンズクラブを通して、タイの山村の子供たちにプレゼントしようとするものです。集めた楽器は会員の手によって洗浄修理し、今年3～4月ごろタイ国へ向けて送られる予定です。皆さんの家に使わなくなった楽器があったら、ライオンズクラブの事務局へご連絡ください。締切日はありません。今後継続して集めますので、1本でも2本でも寄付してください。

○問合せ先 ライオンズクラブ事務局
0438-37-0205 (たけうち教材店)



パラパラウム高校での交流写真

英語教育の現場で ALTの活躍

いま、中学校の英語は日本人の先生と助手の外国人先生の2人で授業しています。

地域の国際化の高まりを受け、この動きを支援する自治体国際化協会が、語学指導を行う外国人青年 (ALT Assistant Language teacher と呼ぶ) を招致しナマの外国語を体験させています。

君津市にきているALTは3名でステイブン・フィッシュ (27歳アメリカ出身、写真右)、レイトン・ブレアー (23歳ニュージーランド出身、写真中央)、マックファーソン・シェイマス (37歳カナダ出身、写真左) の3先生です。

各中学校を1学期毎に移動して生徒にイキのいい英語を教えています。

3人の外国人先生の話では、生徒も含めて日本人は英語を話すのに遠慮しているそうです。皆さん、出会ったらどんどん話してみましょう。

海外と姉妹校交流 千葉国際高校では

市内の三直の高台に千葉国際中・高校がある。中高一貫教育と英語教育重視による国際人育成をモットーとしている学校です。

安藤校長先生にニュージーランドの姉妹校について聞きました。

ニュージーランドの首都ウエリントン市から車で50分のところにあるパラパラウムカレッジ (高校) と姉妹校の調印をして今年で6年目。

昨年の夏休みには15名の生徒がホームステイして、午前中はカレッジで英語を学び、午後と休日はステイ先の家族と共に過ごして交流を深めました。

今年4月にはニュージーランドから約15名のホームステイ受入れを予定しています。来日は今回が初めてです。アルバイトをして来日の費用を作ったとか。パラパラウムカレッジの生徒の皆さんは、親に頼らない独立心旺盛な人たちですね。

KIESを国際交流の発信基地に



若月名誉会長



宮原顧問



前田会長



鎌田副会長



最後はキャンドルサービス
でお別れ。次々と移されたロー
ソクのほのかな光がゆれる



軽快なフォークダンスの曲が流
れ、長い、ながい列ができて、
リズムカルに足並みははずんだ。



ビンゴゲームで賞品獲得1
番乗り。サンタクロースから?
億円のプレゼントあり

参加者の声を聞くと

「会場は少し狭い感じだったが、限
定人数だったので、まあまあだった」
「いろいろ催し物があって面白かった」
「今回はレストランだったので雰囲気
があったし、料理もよかった」と。

料理ではブーランルージュに人気が
ありました。これはローストポークハ
ムをスープで煮込んだもので、フラン
スのブルターニュ地方の代表的な家庭
料理だそうです。

第3回 Xマス 交流を深めたパーティー

デижョンで12月13日(土)に開いた第
3回クリスマスパーティーは、午後6時
半から2時間、楽しい交流を重ねまし
た。

今回の特色は、企画から運営まで
すべて女性会員の手で進められたこと
です。

リレー式の司会から料理、飲み物は
もちろんのこと、ピアノによるクリ
スマスソングのメドレー、外国人の出演、

各種ダンス、ビンゴ、キャンドルサ
ービス、また民族衣装を着たり、天使や
サンタクロースの登場など、アイデア
いっぱい楽しい一夜を過ごしました。

いろいろとご支援くださった皆さん、
ありがとうございました。

花開いた東西紅白歌合戦



東洋チームは中国人の
女性で、日本語教室の生
徒たち

西洋チームは男性で1
面に紹介したALITの先



~~~~~日本語教室の生徒が若月市長を訪ねる~~~~~

初めてということ
で最初は緊張気味で
したが、私的な話題
も出て和やかになり
ました。時間がきて



別れるときは、まず
まず国際化、共生化
を進めることが必要
になったとの思いを
深めました。(12月9日)



2人の弾いたクリスマスの
歌に、雪の中トナカイに乗っ
てくるサンタクロースを連想

協会の中で みんなが活動

参加して一緒にやりませんか！

日本語講座

「愛しているよ」この言葉にコロリと参るのが、人間です。自分の心を相手の心に訴えるのに《言葉》は最高の手段です。

市内には26カ国、700人近い外国人が住んでいます。この人たちは必ずしも十分な日本語を話せるとは限りません。この人たちを支援するのが、日本語教室です。これまでに中国、タイ、フィリピン、米、英、加、ロシア、イラン、ブラジル、ニュージーランドなどいろんな国の人がやってきて、勉強



しています。

なるべく同じレベルのグループに分けてと効率化を考えますが、レベルの違う生徒が次々とやってくるものですから、時にはマンツーマン方式となります。

教室は土曜の午前10時から、火曜の午後1時から、水曜の夜7時からの3クラスで教えています。先生は大部分が女性のボランティア活動です。

「私はあなたを愛しています」という形式的な表現を「愛してるよ」という日常的で、ピッタリする言葉を教えているのが《日本語教室》です。

(取材：井上)

英会話講座

外国人と会った時、できないながらもはずかしがらずにお話しができることを目標に、10名前後の受講生が毎週月曜日の19時から21時まで、英会話を勉強しています。

講師はカナダ出身のニコライ・ストラックさん。通称ニコさんです。3年半前に日本に来て、今市内の市立高校で先生をしています。アメリカの宇宙船アポロ8号が月へ着いた日に生まれ



た人で、現在独身です。

教室内はいつも笑いが絶えません。ストラックさんがヘンナ日本語を多用するので、皆はずかしがらずに英語を使っています。時間中、受講生は日本語を使うことを禁止されています。辞書も使用不可です。少しでも集中して英語を学ぶためです。

学習のレベルは中の下ぐらいを目指していますが、欠員が出ないので新入生が入れない状態が続いています。

教室の世話係りは語学委員会の金子さんです。

(取材：森山)

中国語講座

教室が開講されたのが平成8年6月、18カ月を経過しました。初めは受講者が30数名いて、教室は満杯状態が続きましたが、月日とともに受講者も減り、現在は16～17名前後になりました。



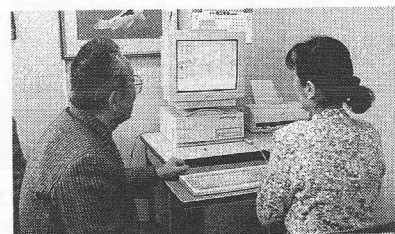
許先生、藤森先生のユニークな講義を受けています。「はじめての中国語」という教材で発音をみっちり仕込まれ、簡単な日常会話ができるようになりました。

平成10年1月18日には教室の修学旅行をかね、浦安のベイヒルトンホテルでの中国料理バイキングに行く予定を立てています。また、近い将来には、北京市房山区にツアーを組んで行く計画もあります。

(取材：香本)

パソコン講座

総務広報委員会の主催で6月から、パソコンワンデースクールを開きましたところ20数名の応募者があり、パソコン入門、パソコン初級、インターネット入門、電子メール入門といったコー



スで勉強しました。特にワープロ部門では熱心な方がいて、引き続いてバックアップ講習を受講しています。最近では、ワープロは初級から中級に進んでおり、マンツーマンによる学習で効果をあげています。

これらのコースは、会員がパソコンを学ぶきっかけになればと、また国際交流の手段にインターネットの活用をとの願いから開講したものです。

(取材：香本)

新会員をかこんで懇談会

昨年12月20日、7月以降に入会された会員に集まっていただき、市と協会役員と今後の協会活動についていろいろと意見交換をしました。協会は固定した活動をするわけではありません。もっと良い活動があれば、その運動を進めていけばいいわけです。楽しい活動と一緒にやっていきましょう。

協会の会報編集や記事を書くのが好きな方募集中

総務広報委員会

手作り編集を目指しています。パソコンを使って編集します。電話ください。52-8425 森山

今年も情熱を燃やして参加

去年の楽しいイベントのいろいろ

千葉を知るバスハイク

都市交流委員会



佐原市と佐倉市へのバスハイクを10月30日(木)に実施しました。

佐原市は伊能忠敬の旧宅と、その周辺の古い町並みを見ようというものです。旧宅での忠敬の作成した地図や機器を見て、改めて忠敬の偉業に感動しました。とにかく歩いて、歩いて日本全国の地図を作ったのですからね。今ならやる人はいないでしょうね。

旧宅の傍を流れる川沿いの静かなたたずまいは、昔の風情をしのばせてのどかな感じでした。

昼食は一転してホテル日航成田という近代的な建物の中で、バイキング料理という賑やかさ。中国、ロシア、ブラジルなどの参加会員も大喜びで、楽

しそうに味わっていました。

佐倉市は歴史民族博物館の見学で、どっしり城の跡地に建ててありました。

第1から第5までの展示室を、ややかけあし気味で見たのですが、それでもあっという間に3時間がすぎました。地方豪族の成立過程や、民衆が開拓と産業に打ち込んで、発展していく様子が理解できました。

帰りの車内はビンゴゲームや合唱でにぎわい、長い時間も楽しくすごし君津に戻りました。

君津を知ろう会

都市交流委員会
文化交流委員会



「君津まほろば(桃源郷の意味)」と題して、両委員会が昨年9月27日合同で歴史散歩を実施しました。市内のことを知らない、外国人から聞かれたら困ってしまうとの反省からです。一昨年に続いたの試みです。

今回は君津市の文化財審議会会長の尾形太郎平(写真中央)さんをお願いして、九十九房廃寺跡から鐘が淵へと史跡をたどりましました。

1200年余り前の和銅3年(710年)の頃八重原団地には金堂、講堂、三重の塔、鐘樓などを有する大きな寺院があったそうで、今、塔の礎石が残っていました。

足をのばして、内みのわ運動公園の入口を少し入ると、正面に階段があり、上に弁財天と厳島神社があります。その横が「鐘が淵」の池で、この汲めど



尽きせぬ水は農民たちの信仰の対象となり、また昭和の初期までこの水で酒を造ったとか。

古墳時代から奈良時代にかけて、君津地方は豊かな生活がありました。当時の人は中国から渡来した文化と直面していたわけで、インドや中国のことを思っていたのではないのでしょうか。

夏の野外パーティ

文化交流委員会

昨年の7月20日(日)、ソーメン流しとバーベキューの野外パーティを開きました。野外とはいっても小糸の野口会員の涼暉荘といって、屋根つきの施設のある所で、太陽の直射もなく、美男美女は助かりました。

野口さんは内外の人とよくここでそうめん流しをして人間関係を深められるそうで、私たちも安心してパーティを開き、心のふれあいを深めました。

まずは腹ごしらえをしてからと、そうめんをゆでたり、肉を焼いたり。そこは腕ききの職人がいて、辛口の批評家もいましたが、結構“おいしい”を連発して、満足、満足。英国人のバグパイプ音楽に感動したり、インドネシアのバンブーダンスを楽しんだり、中国の歌を歌ったり、日本の琴を聞いたりして、午後をすごしました。

最後は君津市のふるさと祭りの踊りを全員で練習、8月3日の本番に備えました。

久留里城まつりを見物

文化交流委員会

キッズクラブでは10月19日(日)にバスハイクをして、清和と久留里へ行きました。最初にフルーツ村へ行ってナシ狩りをしたあと、外国語遊びをしました。英、中、比、の外国人が皆の前に立ち、自分の国の言葉を教えるのです。例えば頭を指し英語、中国語、タガログ語で言います。皆は声を揃えて発音するのです。

次に手話を使って「四季の歌」を歌いました。女性会員の一人が指導し、全員で演じました。さらにゲームを楽しんだ後、お弁当を食べました。

この日、久留里の町では「お城まつり」があり、全員で見物しました。江戸時代の久留里城下の人達を再現したものだけに、子供たちには印象深いものがあつたようで、また参加したいとの声が多く聞かれました。